

平成31年度杉並区NPO活動資金助成事業募集

杉並区では、地域の課題解決に取り組むNPO活動を応援するために、「杉並区NPO支援基金」を設置しています。この基金を活用し、NPOの地域貢献活動へ助成金を交付しています。申請書類の提出に関するご相談は、すぎなみ協働プラザまでお気軽にどうぞ！

- ◆申請受付期間
3月18日(月)～4月12日(金)午後5時まで
提出先:地域課 協働推進係
(成田東4丁目36番13号 ☎03-3312-2381)
- ◆募集説明会
3月15日(金)①午後4時～5時
②午後6時半～7時半
会場:杉並区役所分庁舎3階
- ◆平成30年度助成事業報告会
4月26日(金)午後2時～3時半
会場:杉並区役所分庁舎3階

今回から
申請書提出先が
変わりました!

すぎなみ地域大学&すぎなみ大人塾共同開催講演会

「声と話し方&聞く力を磨いて、
コミュニケーションスキルアップ！」

魚住りえさん(元日本テレビアナウンサーで、累計販売数15万部のベストセラー「たった1日で声まで良くなる話し方の教科書」の著者)をお招きし、新年度に新たな一歩を踏み出すための会話を上げるお客様参加型の講演会を開催します。

- ◆日時:5月18日(土)午前10時30分～午後0時(開場10時)
- ◆会場:セシオン杉並 ホール(梅里1-22-32)
- ◆定員:500名(先着順・定員に達するまで受付)
- ◆参加費:無料
- ◆申し込み:電話・メール・FAXで①名前②フリガナ
③電話番号を明記の上、下記まで。
- ◆地域課(すぎなみ地域大学担当)
TEL:03-3312-2381 FAX:03-3312-2387
Mail:tiikidaigaku-t@city.suginami.lg.jp



CAMP

キャンプのように、できる人ができることをしよう。

Vol.16
2019年3月発行

交流コーナーをご活用ください♪

プラザには、NPOや地域活動のために無料で使えるスペース「交流コーナー」があります。ご利用にはプラザへの団体登録をお願いしています。

【設備】
打合わせスペース×4(1スペースあたり4～6人利用可能)、ホワイトボード、ノートパソコン、Wi-Fi、電源、コピー機、リソグラフ(製版機)
※コピー機、リソグラフのご利用は、団体登録の必要はありません。

- ～ご利用にあたって～
- ◆ご利用の際には、プラザ事務所にお立ち寄りください。
- ◆大人数で利用される際には、受付時にご相談ください。
- ◆ご予約はできません。
- ◆プラザ主催事業開催時は、利用できないことがあります。プラザ公式ホームページにスケジュール表がありますので、予めご確認ください。または、プラザまでお電話ください。
- ◆営利、教室、勉強、飲食目的でのご利用は、ご遠慮いただいております。
- ※2019年3月30日は、臨時休館のためご利用できません。
- 団体登録要件については、こちらをご覧ください。



プラザの図書のご利用を！

プラザにはNPOや地域活動団体に関する資料や専門書があり、相談業務等に使用しますが、交流コーナーでの閲覧も可能です。どうぞご利用ください。

- ◆知っておきたいNPO 1巻～5巻
基本編、資金編、協働編、参加編、事業評価編に分かれた小冊子で、課題に応じた活用ができます。
- ◆にっぽんのNPOを元気にする「組織評価」のすすめ
非営利組織が社会から支援を受けるための評価の方法が漫画形式で解説されています。
- ◆非営利組織の成果重視マネジメント
団体の使命とは何か？ 現代経営学の分野で著名なピーター・ドラッカーによるワーク形式の実践書。
- ◆雑誌「ネットワーク」隔月刊
東京ボランティア・市民活動センター発行のNPOや協働についての総合誌です。成功事例や旬の話題がたくさん掲載されています。



すぎなみ協働プラザ

http://www.sugi-chiiki.com/nposupport

〒166-0004 阿佐谷南1-47-17 阿佐谷地域区民センター4階
TEL:03-3314-7260 FAX:03-3314-7265
E-mail:info@nposupport.jp

「すぎなみ協働プラザ」は、杉並区からの事業委託により「NPO法人CBすぎなみプラス」が運営しています。

- 開館日:月/水～土曜日 午前10時～午後6時
- 休館日:日・火曜日、第3水曜日、年末年始(12/28～1/4)
- アクセス
・JR中央線・総武線「阿佐ヶ谷駅」より徒歩2分
・東京メトロ丸ノ内線「南阿佐ヶ谷駅」より徒歩7分
※自転車でお越しの方は中庭駐輪場をご利用ください。
※駐車場はありません。



特集：聞かせて！仲間づくりのコツ

掲載団体

- ・すぎなみKarutaプロジェクト
- ・NPO法人きずなメール・プロジェクト
- ・NPO法人児童英語教育振興会
(写真は左から荻本さん、大島さん、下山さん)

～地域活動講座 開催レポート～

「ファンづくり・仲間づくりから始める！NPO資金獲得の基礎と実践」

特集：聞かせて！仲間づくりのコツ

■交流会で連携のきっかけを

地域課題の解決へ向けNPO法人や任意団体はさまざまな取り組みをしています。課題によっては団体同士が連携するとやりやすくなると思われるケースもありますが、実際はなかなか連携のきっかけがつかめません。

すぎなみ協働プラザはまず活動団体の出会いの場を作ろうと、今年度は交流会を4回開催してきました。その4回目は2月13日(水)の交流会。「仲間づくり」をテーマに参加者約30人に意見交換してもらいました。

仲間づくりでは実績がある、すぎなみKarutaプロジェクトの荻本和利さん、NPO法人きずなメール・プロジェクトの大島由起雄さん、NPO法人児童英語教育振興会の下山弘美さんの3人のゲストスピーカーに、仲間づくりの経験を語ってもらいました。

参加者はグループに分かれて各団体の活動や仲間づくりについて話し合いましたが、「連携できそうな」新しい団体と知り合えてうれしい」などの声が聞かれました。ゲストスピーカー3人が以下のアンケートに答えてくれました。



A: あなたの団体のミッション・ビジョンはなんですか？

B: 仲間や活動資金を集めるために取り組んでいること、または苦労されたことを教えてください。

C: これからの活動計画を聞かせてください。

すぎなみKarutaプロジェクト

A: 創作かるたを通して地域の方、障がいのある方、外国の方との文化交流を進めています。2020年の東京オリンピック・パラリンピックの時に、世界の皆さんとかるたを作り、かるた取り大会をしたいと計画しています。創作かるたは国際理解や障がい者理解など相互コミュニケーションに貢献できると思います。

B: 一番の苦労は外国人の方にワークショップに参加していただくこと。学生や留学生で日本文化や日本語に関心のある方と一緒にワークを進め、交流することを大切にしています。公募やワークショップの作品をかるたに仕上げ、公開・展示することも重視しています。ぜひ皆さんもワークショップにご参加ください。

C: 2020年のオリパラ大会に向けて、今年制作の「200力国かるた」と「オリパラソル」(車椅子でも楽しめる傘のかるた)を活用して体験の場を広げ、活動を魅力的にしていきたいと思っています。言葉と絵による日本発のかるたは、まだまだ多くの可能性をもっています。



information

◆<https://green-party.jimdo.com>

NPO法人きずなメール・プロジェクト

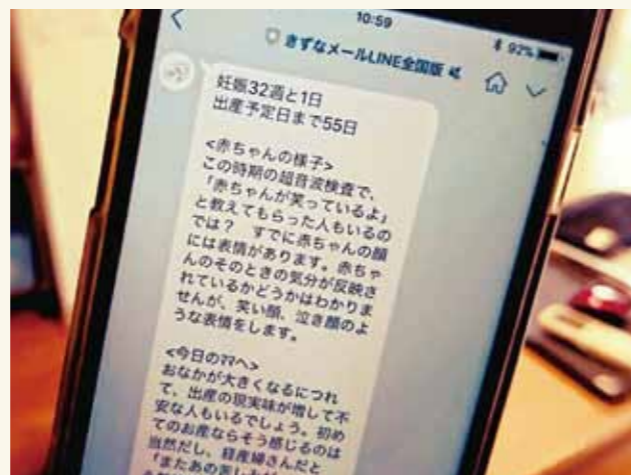
A: 創設時より下記のものを設定し、今のところまだ変わったことはありません。

VISION: 新しい命の誕生に対し社会全体からの「おめでとう」があふれる世界へ

MISSION: 孤育てを予防し、誰もがかけがえのない思いで新しい命の誕生を迎え、子育てができる社会の実現

B: 創設時より事業型NPO、ソーシャルベンチャーの方向性を明確にし、社会課題解消と事業性の両立を目指してきた。事業のあり方として、受益者(エンドユーザー)やボランティア(プロボノ)が活動の担い手になる循環を意識してきた。まだ志半ばという実感なので、さらに継続拡大を目指していきたい。

C: 自治体、医療機関、企業との協働を増やしていくことで、受益者を増やしていく。また児童福祉分野へのコミットメント強化、他分野への越境で新たな価値を創出していきたい。



information

◆<http://www.kizunamail.com>

NPO法人児童英語教育振興会

A: サンダル履きで英会話！をモットーに、身近で学べる英語として地域の英語力を高める。全国に米澤メソッドを広める。このメソッドを使って教える人、学ぶ人を増やしていくこと。

B: 地域で、知り合いから知り合いへ声をかけている。チラシの掲示や配布、フェイスブックでの仲間への呼びかけをしている。人を集めることに苦労はあるが、地域で地道な活動の継続が大切と感じている。資金については、皆さんの参加費や会費で運営している。

C: 春には、こどもクラスの開講、新しいエリア横浜では、大人クラスの継続、杉並では、新規昼と夜の大人クラスの開講を予定している。より多くの人に、手軽に英語を学べる場を作っていきたい。さらには、このメソッドで教えたい仲間を常時呼びかけて増やしていきます。



information

◆jjidoueigokyouiku@gmail.com

～地域活動講座 開催レポート～

「ファンづくり・仲間づくりから始める！NPO資金獲得の基礎と実践」

～NPOの資金獲得で 実践講座一組織を見直す機会に～

すぎなみ協働プラザは平成30年度、NPO法人などを対象にしたスキルアップ講座を開催しています。その一つとして去る1月26日と2月3日の2回シリーズで開催したのが「ファンづくり・仲間づくりから始める！—NPO資金獲得の基礎と実践」。講師でファンドレイザーの浅井美絵さんが初めに強調したのが、「自分たちの団体が何のために存在しているのか。何を目的として、何を目指しているのか」という基本的な問いでした。

活動資金の調達法を考えると、こうした基本的な事項を団体として改めて確認し、それを実現する組織・事業のあり方を見直すことが欠かせない、という視点です。

講座では、自分たちの活動に関わっている地域の団体や人をリストアップする作業をしました。その結果、直接、間接に活動を支えている人や団体、今後協力してほしい人や団体を改めて認識することができました。

まとめは、関係者を少しでも活動に近い協力者や仲間、寄付者になってもらうための「戦略」を考えることです。例えば、活動報告会やイベント、資金集めのキャンペーンをメールで知らせる、寄附をもらった人にはお礼を出す、総会と懇親会への参加を求める…などです。

参加者からは「組織として活動するために何が基本として必要かが分かり、目からウロコでした」「(関係者の)誰に、何を、どうする」を具体的に考える大切さを知りました」「団体の中で共通認識を持つことができました」などの声が寄せられました。



浅井美絵さん

